



Kabuto

avand

アヴァンド

AVAND系 取扱説明書

保存用



ご使用になる前に

この取扱説明書は必ずヘルメットご使用前にお読みください。またお読みの後は、保管してくださいますようお願いいたします。

メットインスペースへの収納について
当製品は車種により「メットインスペース」への
収納ができない場合があります。
あしからずご了承ください。

ご使用になる前に

このたび、当製品をお買い上げ頂き、ありがとうございます。

この取扱説明書はお買い上げいただいたヘルメットの正しい取扱い方法や各機能、脱着などについて説明しております。ご使用になる前に必ず最後までお読みください。

またお読みの後は、大切に保管してくださいますようお願いいたします。

ヘルメットは、いかなる事故にも、絶対という訳ではなく、万一の際に危険の度合いを減らす装備の一つで、安全の一要素にすぎないということをよくご理解のうえご使用ください。

安全快適なモーターサイクルライフを楽しむためにも、本書に記載の注意事項をよくご理解いただきますようお願いいたします。

❗ 頭に合ったサイズのヘルメットを、お選びください。

大きすぎるヘルメットは、走行中ぐらつき危険です。また小さすぎるヘルメットは、頭を締めつけ痛くなる可能性もあるので、頭によく合ったヘルメットをお選びください。

❗ あごひもは必ずしっかり締めてください。

あごひもを締めなかったり、締め方がゆるいと、万一転倒した時などに脱げてしまい、頭を守る事ができず非常に危険です。

❗ 大きな衝撃を受けたヘルメットは外観上に損傷がなくても、ご使用にならないでください。

ヘルメットはシェル及び衝撃吸収ライナーが潰れることで、衝撃エネルギーを吸収します。大きな衝撃を受けたヘルメットは、既にライナーが潰れている場合が多く、そのまま使用すると、再度衝撃エネルギーを吸収できず非常に危険です。外観にキズ等がなくても、使用しないでください。

❗ ヘルメットの改造は絶対にしないでください。

ヘルメットに穴を開けたり、内部の衝撃吸収材を削ったり、また、あごひもなどは絶対に改造しないでください。ヘルメット本来の性能が発揮できなくなり非常に危険です。

❗ ヘルメットのお手入れは薄めた中性洗剤でふき取るようにしてください。

ガソリン、シンナー、ベンジン、熱湯（50℃以上）や、塩水等は絶対に使用しないでください。ヘルメットの材質が冒され、ヘルメットの性能が低下するおそれがあります。

❗ ヘルメットを塗りかえる時のご注意

シェル及び衝撃吸収ライナーは、塗料や熱の影響により材質が侵され、衝撃吸収力が低下する場合があります。また、乾燥に50℃以上の熱を必要とする塗料は使用できません。

ヘルメットを塗りかえる必要のある場合は専門の業者にご依頼ください。

❗ ヘルメットは大切に取扱ってください。

ヘルメットは丈夫だからといって、床等に放り投げたり、上に座ったりしないでください。その度に衝撃を吸収するため、衝撃吸収力が低下します。万が一の為に大切に取扱ってください。

また、乗車時での頭を保護する以外の目的には使用しないでください。

！ ヘルメットの保管について

ヘルメットは直射日光の当たる車の中や、暖房機のそばなど、高温（50℃以上）の場所に長時間放置しないでください。（ヘルメットに使われている材質が冒され、性能が低下します。）

また、落下しやすい、オートバイの上や高所などでの保管はしないでください。

！ シールドのお手入れについて

シールドの汚れを取るときには、柔らかい布を使い、薄めた中性洗剤で汚れをふき取り、最後に清水ですすいだ布で拭きあげてください。ガソリン、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。

！ フルフェイスヘルメット使用上のご注意

フルフェイスをご使用の場合、走行中のヘルメット内はほぼ一定の温度ですが、高速度で移動しているため周辺の環境は常に変化しています。そのため、突然の雨やトンネルに入った直後、峠道など高低差がある場合は、ヘルメット内の温度と周辺との気温差が生じるため、シールドが急激に曇ってしまう場合があります。このような状況が予想される時は、あらかじめシールド開度の調整や適切なスピードにするなど注意をするをお願いします。

なお、シールドの開閉操作及び、ベンチレーションシャッター操作は、必ず停止した状態で行ってください。走行中の操作は危険です。

！ 乗車用ヘルメットの有効期間は、「購入後3年間」です。

ヘルメットは様々な状況下において使用されるために、見た目以上に劣化が進んでいることがあります。このため、SGマークにはヘルメットの耐久性を考慮して、「購入後3年間」と有効期限を定めて、ヘルメットに表示しております。有効期限を過ぎたヘルメットは、事故の際に十分な保護性能を発揮できない場合が多く、正常に使って異常が認められなくても、ご購入後3年以内に交換してください。



財団法人製品安全協会
製品安全マーク

PSC・SGマークについて

「PSCマーク」

「P:Product(製品)」、「S:Safety(安全)」、「C:Consumer」の頭文字を略号としてマークで表しています。これは消費者生活用製品安全法に基づき製造された製品に表示されるマークで、消費者に対して生命の危険や身体に特に危害に及ぼすおそれが多いと認められる製品を国が「特定製品」として指定していることを意味します。日本国内で販売されるヘルメットは、このマークが表示されていなければ、販売することはできません。

「SGマーク」

SGマークは、製品安全協会が定めた認定基準に適合している製品に表示されるマークです。

またSGマークは、万一ヘルメットに欠陥があり、製品安全協会の定める認定基準に適合していないために着用者が損害を蒙った場合に、その損害を賠償するものです。なおこの制度はプロオートバイレースやサーカスなどの特殊な用途に用いている際の負傷や、認定基準が定めるヘルメットの性能を超える強い衝撃を受けたための負傷などは賠償の対象になりません。

（SGマークに関するお問い合わせ先）

〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ 三ノ輪 2F

製品安全協会 ☎(03) 5808-3300 (代)



AVAND 取扱説明書・インデックス

AVAND 取扱説明書・インデックス……P-3

安全・快適にご使用いただくために

ご使用になる前に……P-1

PSC・SGマークについて……P-2

あごひもについて

■あごひもカバーの脱着方法……P-4

図あごひもの取扱方法……P-5

ベンチレーションの空調機能

図「ベンチレーションシステム」と「ウェイクスタビライザー^{PAT.P.}」……P-6

図ベンチレーション・シャッター機能の操作方法……P-7

シールドについて

図「シングルアクションシールドシステム^{PAT.P.}」の使用方法……P-8

図シールドラチェットの脱着方法……P-10

内装（インナーパッド・チークパッド）について

図チークパッドの脱着方法……P-12

図インナーパッドの脱着方法……P-13,14

参考 インナーパッド、チークパッドの互換性について……P-13

重要 インナーパッド、チークパッドのお洗濯について……P-14

パーツリスト

● AVANDシリーズ パーツリストと修理対応表……P-15, P-16

商品に関するお問い合わせ・修理のご依頼方法……P-16

1 あごひもカバーの脱着方法

このヘルメットは、汚れた時などにあごひもカバーを脱着して洗うことが可能です。

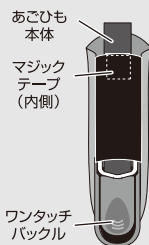
ー取り外しかたー

- ①あごひもの根元にあるマジックテープより「あごひもカバー」のマジックテープを取り外します。
- ②「あごひもカバー」をあごひも本体より引き抜き取り外したら、完了です。

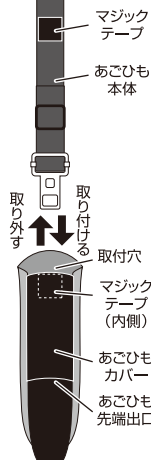
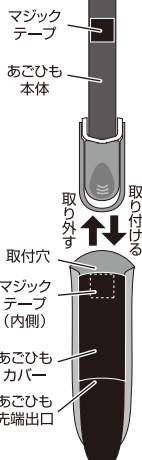
ー取り付けかたー

- ①取り外した逆の手順（あごひもカバーの方向に注意）で、あごひもカバーの上方より、あごひもを通し、あごひもカバーの穴よりあごひもの先端を出します。
※あごひもカバーは、左右共通部品です。
- ②最後にあごひもに付いているマジックテープへしっかりあごひもカバーを押し付けて止めれば完了です。

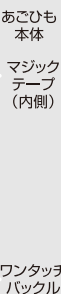
●あごひもカバーの脱着（短い方）



「あごひもカバー」を
あごひもに装着した状態



●あごひもカバーの脱着（長い方）



「あごひもカバー」を
あごひもに装着した状態

❗ご 注 意

- あごひもカバーを取り付ける際は、あごひもカバーの表（レザー部分）・裏（あごに当る生地部分）の方向にご注意ください。

パッド類のメンテナンスについて

このヘルメットには、インナーパッド、チークパッド、あごひもカバーが汗やほこりなどで汚れた場合、取り外して洗うことが出来る「内装フル脱着システム」を採用しております。洗う際には、一般に市販されている家庭用洗濯洗剤を使用し、手洗いもしくは洗濯機（必ず洗濯ネットに入れる事）で、洗ってください。また洗浄後は、直射日光の当たらない、風通しの良い場所で、かげ干しをしてください。

2 あごひもの取扱方法

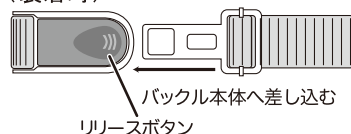
●ワンタッチバックルの脱着

このヘルメットには、あごひもの脱着が簡単にできる「ワンタッチバックル」を採用しております。

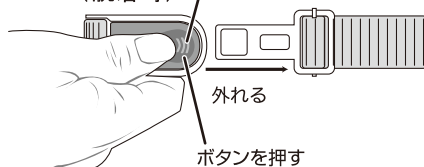
⚠ 警告

●ワンタッチバックルを装着しないで行走したり、装着が不完全だと、万一転倒した際に、ヘルメットが脱げてしまうおそれがありますので、オートバイに乗る前に、確実に締まっているかを確認してから、走行してください。

(装着時)



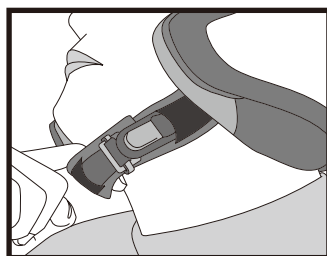
(脱着時)



●あごひもの長さ調整

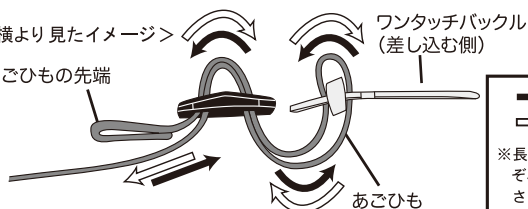
〈適正なあごひもの長さ〉

ヘルメットをかぶり、ワンタッチバックルをしっかり締めます。その際、のど元付近のあごひもと、のどの間に、人指し指一本入る程度が適正なあごひもの長さと言えます。このときに、あごひもの長さが合っていない場合は、あごひもの長さ調整を行ってください。



〈真横より見たイメージ〉

あごひもの先端



→ 短くするとき

⇨ 長くするとき

※長さ調整を行うときはそれぞれの方向へあごひもを移動させてください。

⚠ 警告

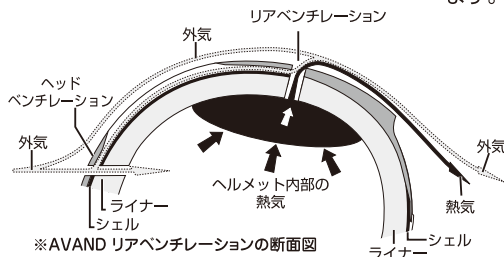
ワンタッチバックルをしっかり締めても、あごひもの長さが適正でないと、万一転倒した際にヘルメットが脱げたり、首元が必要以上に締まったりするおそれがあります。あごひもはヘルメットの重要な部分ですので、乗車前には必ず、慎重かつ正確に調整しましょう。

3 「ベンチレーションシステム」と「ウェイクスタビライザー^{PAT.P.}」



【ベンチレーションシステム】

オートバイ走行時における前方からの風圧を利用して効率よく外気を導入し、ヘルメット内部の熱気を排出させるシステムです。またこのベンチレーションには、風の導入を任意で開閉する「シャッター機能」が装備されており、寒い冬や雨天時などの冷気や水滴の侵入をシャットアウトします。



【ウェイクスタビライザー^{PAT.P.}】

ウェイクスタビライザーは、様々な角度から行われた風洞実験の分析結果から生み出されたOGK KABUTOの新システムで、走行中に発生する帽体付近の空気の流れをコントロールし、負荷を軽減します。



ウェイクスタビライザー^{PAT.P.}

❗ご注意

- ベンチレーションおよび、ウェイクスタビライザー^{PAT.P.}は、軽量化・転倒などによる頭部や身体へのダメージを抑えるため、非常にデリケートな設計になっております。強い力を与えると、破損するおそれがありますので、お取り扱いには十分ご注意ください。

4 ベンチレーション・シャッター機能の操作方法



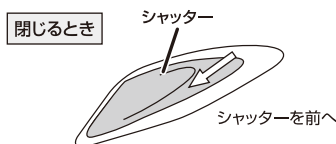
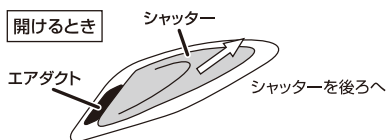
【ヘッドベンチレーションの開閉操作】

開けるとき

シャッターを後ろにスライドさせると、エアダクトが開き、外気が導入されます。

閉じるとき

シャッターを前にスライドさせると、エアダクトが閉まり、外気導入が遮断されます。



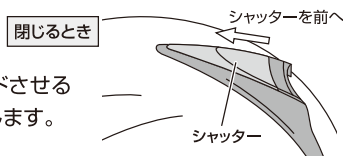
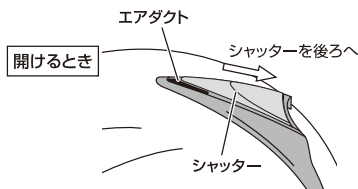
【リアベンチレーションの開閉操作】

開けるとき

リアベンチレーションのシャッターを後ろへスライドさせると、エアダクトが開き、ヘルメット内部の熱気を強制排出します。

閉じるとき

リアベンチレーションのシャッターを前へスライドさせると、エアダクトが閉じて、熱気の強制排出を停止します。



❗ ご注意

- 各ベンチレーションは、強い力を与えると部品が破損する場合がありますので、取扱いにはご注意ください。

※「4 ベンチレーション・シャッター機能の操作方法」に関する次ページの、「警告」・「ベンチレーションが破損した場合」についても必ずよくお読みください。

⚠ 警告

- 走行中のシャッター操作は危険ですので絶対におやめください。
シャッターを操作するときは必ず、走行前あるいはオートバイを安全な場所に停車させてから操作してください。
- ヘッドベンチレーションおよびリアベンチレーションのエアダクト(エア吸排出穴)は、転倒や事故の際の大きな衝撃を考慮し、最良の大きさ・数で設計しております。むやみに穴を広げたり、穴の数を増やしたりすると、ヘルメットの性能を低下させる原因となり、大変危険ですので絶対におやめください。

① ベンチレーションが破損した場合

各ベンチレーションが破損した場合は、メーカー修理となります。(16ページ参照)
なお修理受付の際、ヘルメットの安全性能が保持出来ないと判断した場合は、修理が出来ない事があります。

5 「シングルアクションシールドシステム^{PAT.P.}」の使用方法

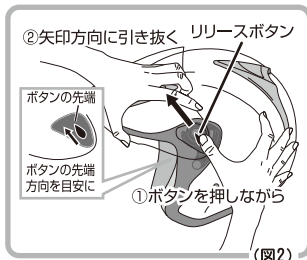
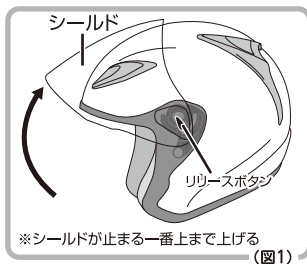
「シングルアクションシールドシステム^{PAT.P.}」は、OGK KABUTOが開発したシールド交換システムで、走行時のコンディションに合わせて、素早いシールド交換を可能にしたほか、メンテナンスも容易に行う事ができます。

ーシールドの取り外しかたー

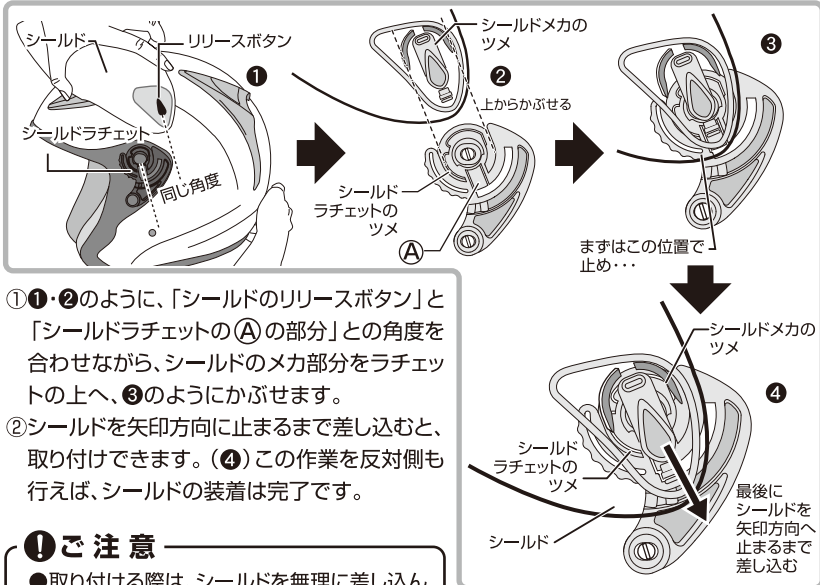
- ① シールドを(図1)のように一番上まで上げた状態にします。(止まる位置まで上げてください)
 - ② (図2)のように、シールドにあるリリースボタンを押したまま、矢印方向へ引き抜くと、シールド片側が完全に取り外せます。
- ※リリースボタン先端の角度を目安に引き抜くと、スムーズに取り外せます。
- ③ この作業をもう片側も行うと、シールドが完全に取り外せます。

① ご注意

- 構造上、シールドを一番上まで上げないと、シールドを外せません。
- 取り外す際は、シールドを無理に引き抜いたり、ねじったりしないでください。シールドやラチェット機構が破損するおそれがあります。
- 取り外したシールドは、キズが付かないよう、お取り扱いには十分ご注意ください。



—シールドの取り付けかた—



- ①①・②のように、「シールドのリリースボタン」と「シールドラチェットの(Aの部分)」との角度を合わせながら、シールドのメカ部分をラチェットの上へ、③のようにかぶせます。
- ②シールドを矢印方向に止まるまで差し込むと、取り付けできます。(④) この作業を反対側も行えば、シールドの装着は完了です。

! ご注意

- 取り付ける際は、シールドを無理に差し込んだり、ねじったりしないでください。シールドやラチェット機構が破損するおそれがあります。
- 取り付けたあと、必ず一度シールドを抜く方向に軽く引っ張り、抜けない事を確認してください。
- シールドの取り付けが完了したら、シールドを3～4回開閉し、正確に開閉動作が出来るか確認を行い、異音がしたり、開閉動作がうまく出来ない場合は、当項目①～④を再度よくご覧になり、最初から取り付け直してください。

! 警告

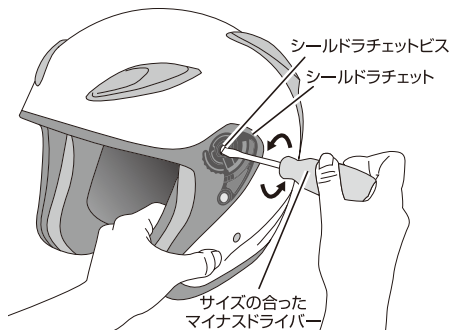
- シールド取り付け後は、シールドが確実に取り付けられているか、また、開閉動作が正しく出来ているかの確認をしっかり行ってから走行してください。開閉動作が不完全な場合や、取り付けが不完全ですと、万一、走行中にシールドがうまく開閉しなかったり、脱落する可能性があり、大変危険です。
なお、開閉動作時に異音がしたり、開閉動作がうまく出来ない場合は、当項目を再度よくご覧になり、最初から取り付け直してください。
- シールドは消耗品です。虫や飛び石などでシールド表面がキズ付くと、視界を妨げる原因となり、大変危険です。キズや汚れが著しい場合は、そのまま使用を続けずに、早めに新しいシールドに交換してください。

6 シールドラチェットの脱着方法

「シールドラチェット」とは、シールドの開閉や「シングルアクションシールドシステム^{PAT.P.}」の機能をコントロールする部分です。

「**5** シングルアクションシールドシステムの使用方法^{PAT.P.}」でシールドを完全に取り外すと、シールドラチェットが現れます。

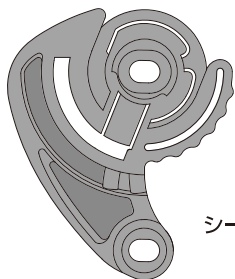
—シールドラチェットの取り外しかた—
シールドラチェットを取り付けている、シールドラチェットビスをサイズの適したマイナスドライバーで、左（反時計方向）に回すと、ビスが取り外せ、シールドラチェットも完全に取り外せます。この作業を反対側も行います。



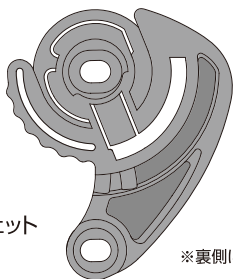
！ご 注 意

- シールドラチェットビスを取り外す際は、ビスに対して正しくサイズが合ったドライバーを選び、ビスに対してドライバーが垂直になるように回してください。サイズが合っていないかたり、斜めに回したりすると、ビスのネジ山が潰れてしまうおそれがあります。
- 取り外したビスは、紛失しないようご注意ください。

—シールドラチェットの取り付けかた—



右側 (Rの刻印) ※



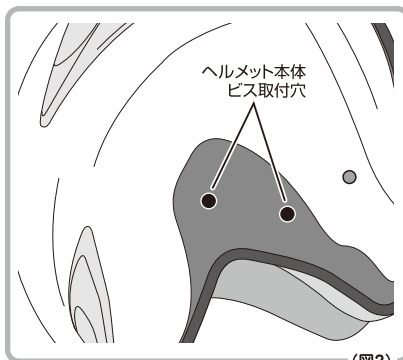
左側 (Lの刻印) ※

シールドラチェット

※裏側に刻印があります

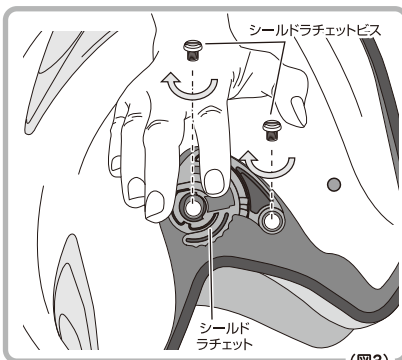
(図1)

①まずは、(図1)のように、シールドラチェットの方角を確認します。



(図2)

②ヘルメット本体・横のくぼみにシールドラチェットを乗せ、シールドラチェットの取付穴とヘルメット本体の取付穴を合わせます。(図2)



(図3)

③シールドラチェットビスを2箇所とも、右(時計回り)方向にしっかり締めます。この作業を両側とも行うと取り付け完了です。(図3)

!! ご注意

- シールドラチェットビスを締める際は、必要以上に締め付けしないでください。ビスやその他部品が破損するおそれがあります。
- シールドラチェットビスを締める際は、ビスに対してドライバーを垂直にして回すようにしてください。ビスのネジ山が潰れてしまうおそれがあります。

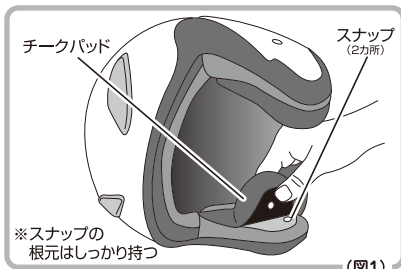
!! 警告

- シールドラチェットは、シールドの開閉動作に重要なパーツです。取り付けは確実に行い、取り付けが終わったら、シールドが正しく完全に下まで閉まるか、また開閉動作は正しく行えるかなどの確認を必ず行ってください。
- シールドラチェットビスは、定期的に緩みをチェックし、増し締めを行ってください。緩んだまま走行すると、走行中にシールドが脱落するおそれがあり、大変危険です。

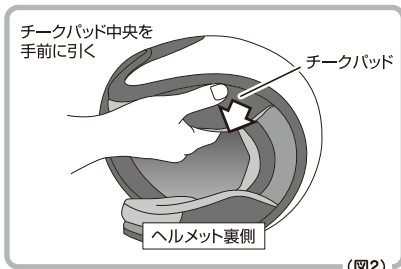
7 チークパッド（ほほ）の脱着方法

ーチークパッドの取り外しかたー

- ①まず、チークパッド裏側のスナップ2カ所を外します。（図1）
- ②チークパッド中央をしっかりとつかみ、手前に引きます。（図2）
- ③この作業を両側とも行くと、完全に取り外せます。



（図1）



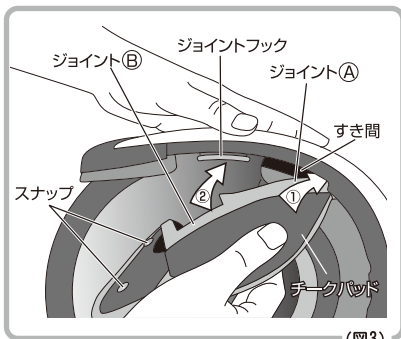
（図2）

！ご 注 意

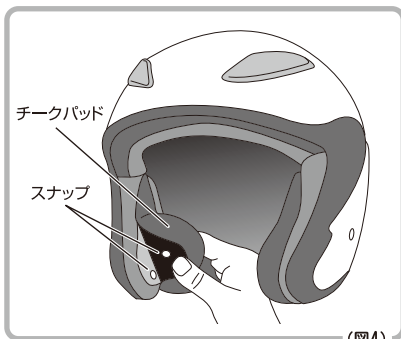
- チークパッドのスナップを外す際は、必ずスナップの根元付近を持つようにしてください。スナップから離れた所を持って引っ張ると、スナップ部分が破損するおそれがあります。

ーチークパッドの取り付けかたー

- ①リアジョイント①をシェルとライナーのすき間に差込みます。
- ②ジョイント②をジョイントフックに差し込みます。（図3）
- ③スナップ2カ所を止め、取り付け完了です。この作業を反対側も同じように行います。（図4）



（図3）



（図4）

！ご 注 意

- ヘルメットの本来の装着感を損なわないためにも、パッド類の取付は正確に行いましょう。

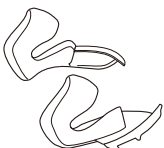
参考 インナーパッド、チークパッドの互換性について

AVANDシリーズは、インナーパッド、チークパッドともに、以下の通りの互換性がありますので、チークパッドだけを小さめにする、などといった、細やかなサイズ調整が可能です。各パッドをお求めの際は、以下の互換表をもとにお買い求めください。

■AVANDシリーズインナーパッド: 各 ¥3,675 (税込)

	帽体サイズ	パッドサイズ(厚み)	互換性	パッケージ内容
	L 帽体	S (18mm)	S, M, Lの3サイズ内で互換性があります。	インナーパッド×1個入
		M (12mm)		
		L (9mm)		
	XL 帽体	XL (9mm)	XL, XXLの2サイズ内で互換性があります。	インナーパッド×1個入
		XXL (6mm)		

■AVANDシリーズチークパッド: 各 ¥3,150 (税込)

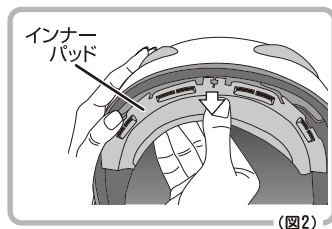
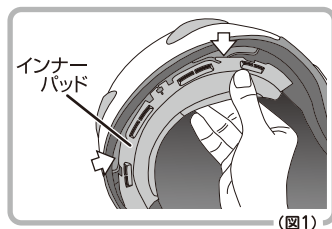
	帽体サイズ	パッドサイズ(厚み)	互換性	パッケージ内容
	L 帽体	S (30mm)	全サイズ内で互換性あり	チークパッド(左右)×1セット
		M (25mm)		
		L (20mm)		
	XL 帽体	XL (16mm)		
		XXL (12mm)		

※AVANDシリーズあごひもカバー(¥1,050 (税込)・左右1セット)は、全サイズ共通です。

8 インナーパッドの脱着方法

ーインナーパッドの取り外しかたー

- ①ヘルメットを逆に持ち、(図1)のように、左右のこめかみ付近の芯材をそれぞれ外します。
- ②次の(図2)のように、中央の芯材を外します。
- ③最後に後頭部にある、3箇所のスナップを外せば、インナーパッドを全て取り外せます。

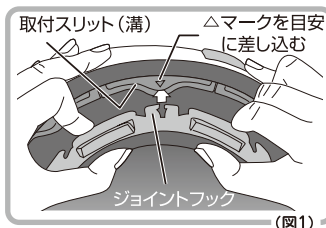


①ご注意

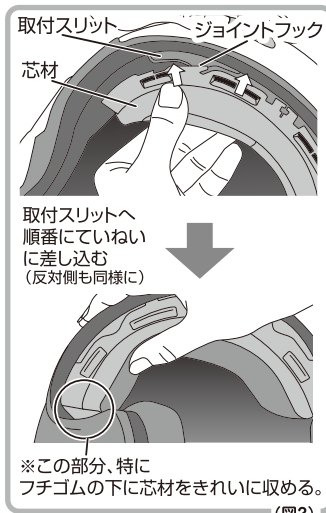
- インナーパッドを取り外す際、芯材やスナップは、強引に引っ張らず、ゆっくり引き抜いてください。パッドの生地やその他部品が傷むおそれがあります。

—インナーパッドの取り付けかた—

①(図1)のように、ヘルメット前側(額部)にある△マークを目安に、インナーパッド中央のジョイントフックをヘルメット本体にある取付スリット(溝)に差し込みます。



②次に(図2)のように、芯材とジョイントフックをていねいに、ヘルメット中央からサイド(こめかみ部分)にかけて、本体の取付スリット(溝)に差し込みます。



この作業を反対側も同じように行います。

③インナーパッド後方(後頭部)にある、3箇所のスナップをそれぞれ取り付けて完了です。

❗ご注意

- インナーパッドが確実に取り付けられていないと、走行中にヘルメットがずれる可能性があります。大変危険です。ジョイントおよびスナップは、確実に取り付けてください。
- ヘルメットの装着感をより良くするためにも、パッド類の装着は正確に行いましょう。

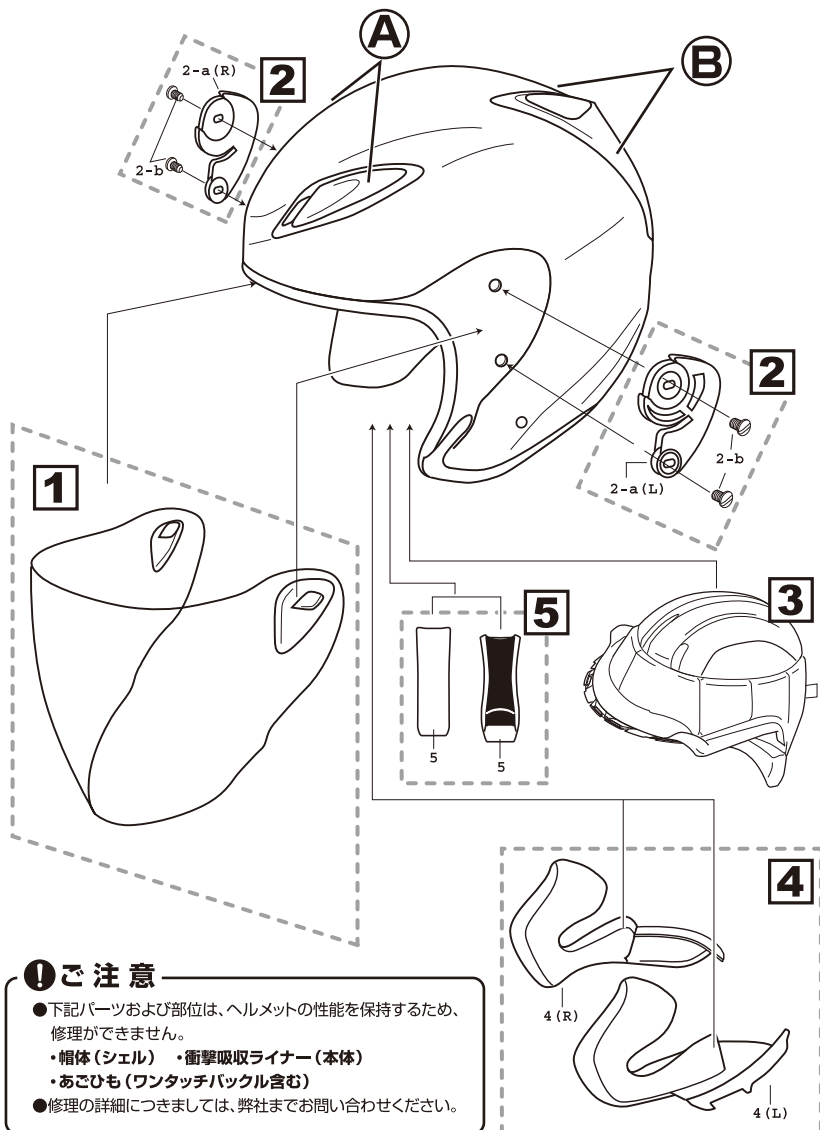
(図2)

重要 インナーパッド、チークパッドのお洗濯について

❗ご注意

- 当製品のインナーパッド、チークパッドは、取り外したあとに洗濯機で洗えますが、必ず洗濯ネットに入れ、個別に洗ってください。
- 洗濯時は、市販の洗濯用洗剤を水もしくはぬるま湯でご使用いただき、熱湯や化学洗剤、有機溶剤などでのクリーニングは、品質の低下や傷みの原因となりますので、絶対に使用しないでください。
- 市販の洗濯用洗剤でも、種類によっては多少の色落ちが発生する可能性がありますので、洗濯の際はなるべく個別に分けて洗ってください。
- 50℃以上となる、乾燥機能付き・ランドリーなどでの洗濯は、パッドの品質低下や傷みの原因となりますので、それらの機器の使用をさけてください。
- 洗濯後はしっかり水気をきり、なるべく直射日光の当たらない場所で陰干しを行い、十分乾燥したことを確認してからヘルメット本体へ装着してください。
- インナーパッド、チークパッドは消耗品です。通常の使用でも使用頻度によっては、生地傷みやインナーフォームの劣化が進みますので、適時交換をお勧めします。

●AVANDシリーズ 補修パーツリストと修理対応表



AVANDシリーズ・補修パーツ／価格表

	パーツ名称	パッケージ内容	価格(税込)
[1]	SAJシールド	1:SAJシールド(標準:クリア)×1枚	¥4,200
[2]	SAJシールドラチェットセット	2-a:SAJシールドラチェット(左右)×1セット	¥1,260
	SAJシールドラチェットビスセット	2-b:6×10ビス(ブラック)×4個	¥210
[3]	AVAND インナーパッド	※P-13参照(S, M, L, XL, XXL)・インナーパッド×1個	¥3,675
[4]	AVAND チークパッドセット	※P-13参照(S, M, L, XL, XXL)・チークパッド(左右)×1セット	¥3,150
[5]	AVAND あごひもカバーセット	5:あごひもカバー(左右共通)×1セット	¥1,050

※上記パーツは、OGKヘルメット取扱店にてお買い求めください。

※パーツにカラーが存在するものに関しては、お買い上げの販売店へご注文の際に、カラーをお伝えください。

※製品の性能をさらに向上させるために、材質や仕様、価格等を予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

※パーツの詳細は、OGKホームページ(www.ogkhelmet.com)でもご覧になれます。

AVANDシリーズ・修理対応パーツ／価格表

※下記パーツは、一部を除いてOGK自社工場でのメーカー修理扱いとなり、基本的にお客様への直接販売は出来ません。
※当社製造不良等の原因以外による破損等につきましては、下記の通り有償修理となりますので、予めご了承ください。

部位	パーツ名称・修理内容	カラー／サイズ	価格(税込)	備 考
[A]	ヘッドベンチレーション	左側用	¥840	●AVAND専用 ●片側のみ交換した場合の価格です
		右側用		
[B]	リアベンチレーション	左側用	¥1,050	●AVAND専用 ●片側のみ交換した場合の価格です
		右側用		

商品に関するお問い合わせと修理のご依頼方法:

■商品に関するお問い合わせは、下記までご連絡、もしくはお問い合わせください。

修理のご依頼方法

■修理のご依頼は、お買い上げの販売店もしくは、弊社までお問い合わせください。

■修理ご依頼品をお送りいただく前に、必ず下記までご連絡、もしくはお問い合わせください。事前にご連絡をいただけない場合、スムーズな修理対応ができない場合がございます。

※修理品到着後、弊社にて「ヘルメット本体の安全性能を確保しかねる」と判断した場合は、修理をお断りする場合がございますので、予めご了承ください。

修理できないパーツ

■下記パーツおよび部位は、ヘルメットの性能を保持するため、修理できません。

- 帽体(シェル)
- 衝撃吸収ライナー(本体)
- あごひも(ワンタッチバックル含む)

※その他、修理の詳細につきましては、弊社までお問い合わせください。

商品に関するお問い合わせ・修理のご依頼についてのご連絡先:

株式会社 オージーケーカブト TEL: 06-6747-8031

〒577-0016 大阪府東大阪市長田西6丁目3-4



株式会社 オージーケーカブト
〒577-0016 大阪府東大阪市長田西6丁目3-4 TEL:06-6747-8031